

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2009-92982(P2009-92982A)

【公開日】平成21年4月30日 (2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2007-264198(P2007-264198)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 1 1 C 19/00 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/36

G 1 1 C 19/00 G

G 1 1 C 19/00 J

G 0 9 G 3/20 6 2 2 A

G 0 9 G 3/20 6 2 2 E

G 0 9 G 3/20 6 7 0 E

G 0 9 G 3/20 6 1 2 K

G 0 2 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月24日 (2010.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

請求項 3 から請求項 9 のいずれか記載のゲート線駆動回路であって、
前記第 1 および第 2 ダミー段の各々は、
第 3 リセット端子と、
前記第 3 リセット端子に接続した制御電極を有し、前記第 1 ノードを放電する第 1 0 トランジスタとをさらに備え、
前記第 1 ダミー段の前記第 3 リセット端子には、
順方向走査時に前記最前段の動作を開始させるためのスタート信号が入力され、
前記第 2 ダミー段の前記第 3 リセット端子には、
逆方向走査時に前記最後段の動作を開始させるためのスタート信号が入力される
ことを特徴とするゲート線駆動回路。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】

請求項 1 8 または請求項 1 9 記載のゲート線駆動回路であって、
前記第 1 および第 2 ダミー段の各々は、
負荷素子を介して電源が供給されると共に前記第 1 ノードに制御電極が接続したトラン

ジスタにより放電される制御電極を有し、前記第 1 ノードを放電する第 1 0 トランジスタをさらに備え、

前記多段のシフトレジスタの各段は、

負荷素子を介して電源が供給されると共に前記第 2 ノードに制御電極が接続したトランジスタにより放電される制御電極を有し、前記第 2 ノードを放電する第 1 1 トランジスタをさらに備え、

前記第 1 および第 2 ダミー段の各々における前記第 1 トランジスタのゲート幅に対する前記第 1 0 トランジスタのゲート幅の比が、前記多段のシフトレジスタの各段における前記第 5 トランジスタのゲート幅に対する前記第 1 1 トランジスタのゲート幅の比よりも大きい

ことを特徴とするゲート線駆動回路。